

NPO法人

第24回全国ことばを育む会 全国大会 岡山大会

大会記録集

◇ 大会テーマ ◇

通い合うところとことば

～晴れの国で 語り合おう 学び合おう～



2011

8月6日(土)13:00~7日(日)12:30

ところ：ピュアリティまきび

目 次

「子どもたち」を主題に、深く、さわやかに語り合った岡山大会	大会会長 加藤 碩	-2-
みんなでつくりあげた岡山大会	大会実行委員長 岡野一 保美	-3-
来賓、感謝状・表彰状贈呈者紹介		-4-
開 催 要 項		-6-
大会基調提案		-8-
大会宣言		-10-
大会アルバム		-11-
記 念 講 演		
「育ち合う心を求めてーことばを育む意味を考える」		
島根大学教育学部教授 肥後 功一		-12-
シンポジウム		
コーディネーター・シンポジスト紹介		-19-
参加者の声		-23-



「子どもたち」を主題に、深く、さわやかに語り合った岡山大会



NPO 法人全国ことばを育む会理事長
全国大会（岡山大会）会長

加藤 碩

「通い合う心とことば 晴れの国で、語り合おう、学び合おう」をスローガンに、第24回全国大会・岡山大会が8月6～7日の二日間行われ、260人を超える参加のもと、成功のうちに終わりました。

大会会長として、猛暑の中ご参加いただいたみなさん、ご後援いただいた文部科学省、厚生労働省、全国公立学校難聴言語教育研究協議会、岡山県、岡山県教育委員会をはじめとするみなさんに心からお礼を申し上げます。

私たちの会は、「子どもを真ん中に、親（親の会）と先生（担当者）が両側からしっかりと支えて三人四脚で、一步一步進もう」を会のモットーとしてきました。今回の全国大会は、大会運営の基調をはじめ、記念講演、意見交流会、懇親会、シンポジウムと二日間の全ての日程において、三人四脚の真ん中にいる「子どもたち」を主題にして、今日の子どもたちをめぐる情勢、特別支援教育の今日までの成果と問題点などを深く、さわやかに語り合ったことです。子どもたちの「生きる力」が、どのように育っていくのか、両側からの支援はどうあるべきなのかが、深められました。

また、3月11日に発生した東日本大震災から立ち上がり、子どもたちの教育条件整備と復興のために力を合わせようという気持ちが一つになった大会でもありました。全国から寄せられた義援金が100万円近くに達し、そのお金で破壊された「ことばの教室」のミラー（指導鏡）が新しく設置されたという報告に拍手が巻き起こったのがその象徴でした。

総合司会を幼児期から中学校まで「ことばの教室」で過ごした卒業生が担当して、りっぱにその役割を果たしたこと、開催担当の「岡山県親の会」のテーマソング「たんぼぼ」の合唱で懇親会参加者140人の心が一つに結ばれたことなど、思い出多い大会となりました。

次期開催地の千葉県にバトンが引き継がれ、この会が様々な課題を乗り越えて、前進することを確信して、お礼のご挨拶といたします。

みんなで作くりあげた岡山大会



全国大会・岡山大会実行委員長
岡野 一 保 美

(岡山県ことばを育てる親の会会長)

全国大会を岡山で...にわかに県事務局内に動揺が起こりました。会長や事務局長などの役職も世代交代し、まだまだ県内のことすらおぼつかず、全国代表者会議でも歴々のメンバーのなかで借りてきた猫のように地に足がつかないような状況の中での全国事務局からの打診。「とにかくやってみよう」...何の根拠もないところから全国への第一歩が始まりました。準備開始早々、「岡山だけでは大変だろう」と中国ブロックの他の4県からの応援の声が届きました。そこから岡山大会は「中国ブロック連合大会」となりました。改めて遠方より岡山を助けるべく集まってくださった中国ブロックの皆様には感謝いたします。

岡山大会の基本コンセプトは、「東京大会のようなスタンダードな大会」でした。費用をはじめ今後全国大会を預かっていく各都道府県あるいは各ブロックにおいても、大会を開催するにあたりなるべく負担感なく、岡山のような地方でも「量は落としても質は落とさず」大会が開けることを示すべく準備を重ねてきたつもりです。

岡山大会の2日間を形あるものにして下さった柱として、やはり島根大学の肥後先生の存在は欠かせません。最初は記念講演の講師として同じ島根県の妹尾先生からご紹介いただいたのですが2日間通しての参加が可能というお返事をいただくや、「それでは...」と非常にご多忙な先生を身勝手にもまる2日間拘束してしまいました。講演を受けての地域間交流としての意見交流会、翌日にはシンポジウムのコーディネーターと、「岡山は何と人使いの荒い県だ」と思われたかもしれません。事前の準備や打ち合わせも不十分であったにもかかわらず、「doing と being」をはじめ、参加者を魅了してやまない先生のお話には、いったいどれだけの保護者や通級担当者等が励まされたことでしょうか。肥後先生、2日間本当にお世話になりありがとうございました。

ご来賓の皆様初め、全国各地・被災地からこの大会にお集まり全国大会を盛り上げていただいた皆様には実行委員を代表いたしまして心から感謝いたします。

大会のスローガンでもある、「通い合うところとことば～晴れの国で 語り合おう 学び合おう～」をもとに、まさにいろいろな場面においてころやことばが「合う」大会となりました。今大会での経験が、今後の皆様の発展につながり実り多くなることを願いたします。

最後になりましたが、文部科学省、厚生労働省、全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会、岡山県教育関係機関・団体ならびに中国各県親の会・先生方より多大なるご協力とご支援を頂きましたことを厚く感謝申し上げます。

来賓紹介

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 調査官 大西 孝志 様
岡山県 県知事 石井 正弘 様
岡山県教育委員会 教育長 竹井 千庫 様
岡山県保健福祉部障害福祉課 課長 小南 篤子 様
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 会長 萩野 三智子様
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 事務局長 阿部 厚仁 様
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 事務局次長 櫻澤 浩人 様



文科省大西調査官



岡山県石井知事



岡山県竹井教育長



全難言 萩野会長

参加者総数 262 名

＊＊ ブロック別参加者数 ＊＊

北海道 6 東北 6 関東 18 東海 14 北陸 2
近畿 2 中国 183 四国 23 九州 8

＊＊ 中国ブロック参加者・県別 ＊＊

山口 18 広島 9 鳥取 6 島根 42 岡山 108

感謝状・表彰状贈呈者

感謝状

ふくもと よしたか
福元 義孝 氏



<静岡県ことばの教室担当>

ことばの教室指導者として12年が経過し、現在も浜松市立積志小学校ことばの教室の児童担当者。浜松市親の会の活動、県内唯一の市単位の親の会で市内通級指導教室9校の教員のリダ-的存在で、親の会と指導者の協力体制を確立し、県親の会の運営、事業にも積極的に協力し、通級指導教室の広く理解、普及に努めている。

ふるや みつる
古谷 充 氏



<元山口県ことばの教室担当>

20年以上にわたって、「ことばの教室」の担当者として、子ども達を指導するとともに、山口県難聴言語教育研究協議会事務局長として、難言教育の担当者を育てるために尽力してこられた。「山口県ことばを育てる親の会」では、キャンプ、教育相談会、総会や役員会に系統的に参加され、「親の会」を育てるために尽力されている。

表彰状

つちや さとる
土谷 さとる 氏



<前全国ことばを育む会理事長>

昭和54年、北海道言語障害児を持つ親の会会長就任とともに、同年全国言語障害児を持つ親の会副会長として、会の全国的な活動のために多方面で活動。平成9年、全国親の会会長に就任。平成17年NPO法人全国ことばを育む会の創設とともに初代理事長に就任、会のトップ・リーダーとして、障がい児の教育と福祉の充実、向上、発展のために尽力された。

いしまき ちえみ
石巻 千恵美 氏

<前長野県親の会会長>

長野県ことばときこえ親の会の会長として14年間の永きに渡り、会長として長野県親の会の運営、活動に尽力し、県との積極的な交渉、毎年夏のキャンプ等で幼児、児童、OBの交流、学習会を積極的に開催し、広い長野県を厚い人望でまとめた。昨年度で会長を退き、会顧問として役員の育成、会運営の指導にあたっている。

第24回全国ことばを育む会全国大会

岡山大会 開催要項

第24回全国ことばを育む会全国大会岡山大会を開催いたします。

東日本大震災の被災者の皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。西日本岡山の地で皆さまのお越しをお待ちしております。

1. 大会主題

「 通い合うところとことば ～晴れの国で 語り合おう 学び合おう～ 」

2. 大会主旨

- ・ ことばやきこえに心配のある子ども達の親と、教育・福祉に関わる関係者が全国各地から一堂に会し交流を深めるなかで、親・親の会のあり方や通級による指導の意義を考え合い、教育・福祉のよりよい方向性をもとめる。
- ・ 国難ともいえる東日本大震災のもとでも「子どもを真ん中に親(親の会)と教育関係者が、三人四脚で」たがいになさえあい、特別支援教育の充実をめざして努力する方向性をさぐる。

3. 主 催

NPO法人全国ことばを育む会
 鳥取県ことばを育てる親の会 島根県ことばを育てる親の会
 岡山県ことばを育てる親の会 広島県言語・難聴児を持つ親と教師の会
 山口県ことばを育てる親の会

4. 共 催

北海道ブロック ・ 東北ブロック ・ 関東ブロック ・ 東海ブロック
 北陸ブロック ・ 近畿ブロック ・ 四国ブロック ・ 九州ブロック

5. 後 援 (含申請中)

文部科学省 厚生労働省 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
 岡山県・岡山県教育委員会 岡山市・岡山市教育委員会 倉敷市教育委員会
 広島県教育委員会 山口県教育委員会 島根県教育委員会 鳥取県教育委員会
 岡山県社会福祉協議会
 NHK岡山放送局 RSK山陽放送 OHK岡山放送 TSCテレビせとうち KSB瀬戸内海放送
 山陽新聞社 朝日新聞社岡山総局 毎日新聞社岡山支局 産経新聞岡山支局 読売新聞岡山支局

6. 期 日 平成23年8月6日(土)～7日(日)

7. 会 場 ピュアリティまきび (〒700-0907 岡山市北区下石井2-6-41) 086 - 232-0511

8. 日 程

【第1日目】 8月6日(土)

12:30～13:00	13:00～14:00	14:10～15:40	16:00～17:30	18:20～20:20
受 付	開会行事	記念講演	意見交流会	懇親会

【第2日目】 8月7日(日)

9:00～9:30	9:30～11:30	11:40～12:30
受 付	シンポジウム	まとめ・閉会

【第1日目】8月6日(土)

記念講演

講師 肥後 功一先生 島根大学教育学部教授

専門分野 教育臨床心理学 発達臨床心理学 臨床コミュニケーション論

演題「育ち合う心を求めて～ことばを育む意味を考える」

意見交流会 (記念講演を受けて)

【第2日目】8月7日(日)

シンポジウム「通じ合うことの意味を考える～子供との日常の関わりを通して」

パネリスト

岡山県現在通級しているお子さんの保護者	荻野 由佳里さん
島根県ことばを育てる親の会事務局長	津田 昭美さん
全国ことばを育む会理事・東北ブロック	佐々木 信孝さん
徳島県ことばを育てる親の会会長	宮内 正仁さん

コーディネーター・まとめ

肥後 功一先生

9. 展示/販売 6日(土)12:00～17:50 7日(日)9:00～13:00

展示： ぼくのわたしの絵画展(全国のなかまたち)

『ことば』表紙絵の原画展・バックナンバー

販売： 両親指導の手引書 一般書籍 表紙絵はがき・原画

10. 懇親会 会場： ピュアリティまきび 千鳥の間

